



移り変わる街並み

～戦後80年を迎えて⑤～

市民の皆さまが手続きや書類の取得などでも来庁される、現在の市役所庁舎が落成したのは1979年12月で、今からちょうど46年前のことになります(落成式典は1980年3月)。

戦前の村役場は宜野湾、現在の普天間飛行場内にありました。沖縄戦を経て、1946年4月4日に市町村制が復活した時期の庁舎は、野嵩の民家を使用していました。その後、台風で飛ばされた野嵩西門原のコンセット庁舎

(写真1)を経て、米国資金により、1950年2月に、同じく野嵩西門原に村役所が建設されました(写真2)。その後、1958年に普天間へ移転し(写真3)、1980年に米海軍通信隊の跡地であつた野嵩の現在地へ移転しました(写真5)。

戦後一代目の庁舎である、普天間に

あつた建物には、外壁に直接「宜野湾村役所」と書いてあつたようです。1962年に宜野湾市に昇格し、「村」から「市」へ変わった際、外壁の文字が「村役所」から「市役所」へ、また、英語表記の位置も変化しています(写真4)。

現在、「宜野湾市新庁舎建設事業」が進められており、市報9月号では「新庁舎基本構想 基本計画策定に係る市民アンケート」についてのお知らせも告知されていました。

次の市役所庁舎が市民の皆さまに
とつてどのような建物となるのか、完成
が待たれます。

問 市立博物館 ☎ 870-9317



▲写真1:コンセット庁舎



▲写真2:野嵩西門原の村役所



▲写真3:普天間の役所



▲写真4:市昇格時



▲写真5:現在の庁舎(竣工時)

はくぶつかん情報



市立博物館 ☎ 870-9317

市民講座「近代沖縄の幕開け」受講生募集!

沖縄の近代について解説します。

▶講 師 前田 勇樹(琉球大学附属図書館 職員)

▶日 時 1/18(日) 14:00~16:00(受付13:30~)

▶集合場所 市立博物館 2階研究室

▶対 象 一般

▶定 員 ①来場参加:40名 ※先着順

②オンライン参加(ZOOM):100名

▶参 加 費 無料

▶申込期間 12/28(日) 9:00~

※年末年始(12月29日~1月3日)は休館

戦後80年企画展Ⅱ「宜野湾 戦後生活史」開催中!

戦後ゼロから始まった民衆の苦悩の歴史を、
宜野湾の移りわりと共に紹介します。

日 時 11/1(土)~1/18(日)

休館日 毎週火曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

場 所 市立博物館1階 企画展示室 観覧料 無料



これはなんの模型だろう?
答えは展示を見に来てね♪

